

専任教員教育研究業績

平成29年5月10日記入

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性 別
竹内 吉和	たけうち よしかず	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・ <input checked="" type="checkbox"/> 講師・助教	Ⓐ・女

小田原短期大学における担当科目名

保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱ、教育相談

学 歴

和暦(西暦)年 月	事 項	学位
昭和53年4月	広島大学 総合科学部 総合科学科 入学	
昭和57年3月	広島大学 総合科学部 総合科学科 卒業	教養学士
平成3年4月	広島大学 法学部 法律学科 入学	
平成7年3月	広島大学 法学部 法律学科 卒業	学士(法学)
平成10年4月	広島修道大学大学院 法学研究科 国際政治学専攻(修士課程) 入学	
平成12年3月	広島修道大学大学院 法学研究科 国際政治学専攻(修士課程) 修了	修士(国際政治学)
平成12年4月	広島市立大学大学院 国際学研究科 博士後期課程 教育経営学専攻 入学	
平成18年3月	広島市立大学大学院 国際学研究科 博士後期課程 教育経営学専攻 単位取得満期退学	
平成26年4月	安田女子大学大学院 文学研究科 教育学専攻 臨床心理学コース 入学	
平成28年3月	安田女子大学大学院 文学研究科 教育学専攻 臨床心理学コース 修了	修士(文学)

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容
広島市立中学校	昭和57年4月 ～平成14年3月	教諭(数学科)
広島市立養護学校	平成14年4月 ～平成17年3月	教諭(障害児教育)
広島市教育委員会 学校教育部 指導第一課 特別支援教育室	平成17年4月 ～平成21年3月	主任指導主事
広島市立特別支援学校	平成21年4月 ～平成26年3月	教諭(特別支援教育)
竹内発達支援 Co.	平成26年4月 ～現在	代表(発達障害者支援事業)
飛鳥未来高等学校	平成27年4月 ～平成28年3月	非常勤講師(公民科)
広島医療秘書こども専門学校	平成27年4月 ～現在	非常勤講師「子育て心理学」「ストレスマネジメント」「カウンセリング」
近畿大学豊岡短期大学 通信教育部	平成27年4月 ～平成28年3月	非常勤講師「教育心理学」
小田原短期大学	平成28年4月 ～現在	保育学科通信教育課程 特任講師
近畿大学豊岡短期大学 通信教育部	平成29年4月 ～現在	非常勤講師「保育相談支援」「保育・教職実践演習」

所 属 学 会 等		
名 称	活動期間	活動内容 (役職等の活動を含む)
日本LD学会	平成14年4月～現在	
日本特殊教育学会	平成17年4月～現在	
日本心理臨床学会	平成26年4月～現在	
日本保育者養成教育学会	平成28年10月～現在	
社 会 活 動 等		
名 称	活動期間	活 動 内 容
広島リビングカルチャーセンター講師	平成26年4月～現在	月に1回一般の市民対象に発達障害と教育心理学や発達心理学、カウンセリングについて基礎研修を講義している。
地域の情報誌『まるごと安佐南&安佐北』での子育てコラム掲載	平成28年4月～現在	月に1回一般の市民対象に配布される地域情報誌で子育てに関するコラムを掲載している。
広島市教育委員会特別支援教育専門家チーム委員	平成21年4月～平成26年3月	広島市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校での巡回相談
NPO法人 日本インクルーシブ教育研究所アドバイザー	平成26年4月～現在	発達障害者への支援
広島市教育委員会幼児教育アドバイザー	平成29年5月～平成30年3月	広島市域の公私立幼稚園、保育園への指導助言
広島市教育委員会特別支援教育専門家チーム委員	平成29年5月～平成30年3月	広島市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校での巡回相談
担 当 教 科 目 に 関 する 資 格 ・ 免 許 等		
名 称	取得年月	取 得 機 関
中学校1級普通免許状(数学・社会)取得	昭和57年3月	広島県教育委員会
高等学校2級普通免許状(数学・社会)取得	昭和57年3月	広島県教育委員会
養護学校教諭1種免許状取得	平成3年3月	京都府教育委員会
盲学校教諭2種免許状取得	平成3年10月	広島県教育委員会
日本体育協会指導員(水泳)資格取得	平成7年4月	日本体育協会
聾学校教諭2種免許状取得	平成9年10月	広島県教育委員会
日本障害者スポーツ中級指導員資格取得	平成11年4月	日本障害者スポーツ協会
中学校教諭専修免許状(社会)取得	平成12年3月	広島県教育委員会
高等学校教諭専修免許状(公民)取得	平成12年3月	広島県教育委員会
学校図書館司書資格取得	平成14年3月	文部科学省
特別支援教育士資格取得	平成19年4月	財団法人 特別支援教育士資格認定協会
日本評価学会学校評価員資格取得	平成20年4月	日本評価学会
特別支援教育士スーパーバイザー資格取得	平成22年4月	財団法人 特別支援教育士資格認定協会

研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 『発達障害と向き合う』	単著	平成 24 年 4 月	幻冬舎ルネッサンス新書	発達障害について発達心理学や教育心理学、臨床心理学の成果を踏まえて解説した本である。第一章で発達障害の基礎的内容を解説し、第二章で知能検査やチェックリストについて解説している。第三章では認知や記憶と学習の関係を解説し、第四章以降において非行と発達障害の関係やカウンセリングや相談活動について解説しているものである。
2 『障害のあるこのための算数・数学』	共著	平成 26 年 2 月	東洋館出版	教育心理学の理論を背景に学びについて解説している。発達障害や知的に遅れのある児童生徒は、その特徴として、認知機能の弱さやアンバランスさがある。さらにこの弱さのために運動機能にも大きな影響を及ぼす。このような特性を持つ児童生徒のための算数・数学の教材と指導方法について解説したものである。見る、聞く、話す、覚える、考えるなどの知的機能を総動員するような教材を紹介し、総動員するような指導方法を具体的に示した。
3 『発達障害を乗り越える』	単著	平成 26 年 4 月	幻冬舎ルネッサンス新書	発達障害について書いた『発達障害と向き合う』の続編である。幼児教育、学校教育、いじめ、就職、結婚等について解説している。特に子育て支援について、発達障害の子どもを持つ母親は周りのサポートが不十分なまま追い詰められている状況を分析し、臨床心理学の知見を基に親との面接や相談で何に気をつけどういう観点で相談を進めればよいかについて解説している。幼児期に気づくことの大切さや幼児期に対応を始めることの重要性を書いている。
4 『実践 発達障害を乗り越える 自分らしさを見つけて育むワークノート』	単著	平成 26 年 7 月	幻冬舎ルネッサンス	チェックシートを使って自分の特性をつかみ、課題解決をする方法についてのワークノートである。認知行動療法の理論に基づいている。認知の凹凸に気づかれずに通常の教育しか受けられない子どもたちは、自己肯定感を消失させ、学習への意欲も失う。支援の意味は自立を目指したものでなければならず、自立を目指した支援は実態に応じて肯定感を持たせるようなものでなければならない。幼児期に支援は開始されなければならないことを解説し、具体的に支援や助言の仕方などについて示したものである。
(学術論文) 1 「中学校における特別支援学級担任が教授できる教科と教職員免許に関する法解釈についての一考察」	単著	平成 21 年 7 月	『LD 研究』	特別支援学級担任が教授できる教科と教職員免許法等の関係についての法解釈について教育心理学、教育心理学、臨床心理学等心理学の知見を基に学習機能との関係で考察したものである。現在、中学校の特別支援学級の担任となるためには、中学校教諭普通免許状で足りるのであるが、特別支援学校教諭普通免許状の取得をすることは、知的障害者等の学級の授業において、所有免許状の教科以外の教授を可能とさせるばかりでなく、特別支援学級担任の専門性の向上という点で意

				味を持つ。専門性の理解は、心理学的見地からの考察をすることにより明確になる。
(その他) ・平成 16 年度 広島市教育委員会特別支援教育資料	共著	平成 17 年 3 月	広島市教育委員会	・広島市教育委員会において、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への理解と指導の充実を図ることから、特別支援教育資料を作成した。本資料は、全ての広島市立幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に配布するとともに広島市公文書館、各県、各政令市教育センター等へも配布している。広島市教育委員会主任指導主事として共著者となり幼稚園の実践等を担当した。発達障害のある幼児の心理特性の基礎について解説した。
・平成 17 年度 広島市教育委員会特別支援教育資料	共著	平成 18 年 3 月	広島市教育委員会	・心理的な問題を抱えた幼児、小中学生に対する援助について解説した。特に発達障害のある幼児児童生徒の実態把握の方法について、チェックシートを紹介して活用方法を解説した。心理的アセスメントの方法や治療的なカウンセリングについても解説している。広島市教育委員会主任指導主事として作成した。
・平成 18 年度 広島市教育委員会特別支援教育資料	共著	平成 19 年 3 月	広島市教育委員会	・発達障害のある幼児児童生徒も含めて、心理的な問題を抱えた幼児児童生徒の個別の指導計画の作成について解説した。発達心理学をもとにした発達の段階の理解や学習指導の形態やグループ学習、個別学習の中でどのように教えたらいいかについて教育心理学や教育学等の成果に応じてまとめた。
・文部科学省特別支援教育関係ボランティア活動事例集	共著	平成 19 年 3 月	文部科学省	・身体的な障害や発達障害だけでなく、心理的な課題のある幼稚園、小中学校、高等学校の在籍する幼児児童生徒へのボランティアの活動について子どもとどのように関わるか等について心理学等の成果を踏まえて紹介した。広島市教育委員会で主管していた特別支援教育アシスタント事業の部分を担当した。
・日本 LD 学会第 24 回大会研究発表「非行と発達障害」	単著	平成 27 年 10 月	日本 LD 学会	・24 の発達障害のある少年の犯罪の裁判記録等を分析し、生育歴や家庭環境、学校教育等の足跡を追って、非行少年の心理的特性及び環境要因について考察した。臨床心理学の成果を踏まえての探索的研究である。幼児期、学童期、青年期に親との良好な関係が築けなかったり、苛めたもしくは苛められたりしたといった体験の有無、不登校体験・引きこもり体験、インターネットやゲームへの埋没といった特

				徴があることがわかった。今後の学校教育や家庭教育、社会の在り方が問われることを考察した。
・広島県江田島市子育て支援センター「親対象研修会」、広島県江田島市子育て支援センター「子育ての悩み相談会」、広島県呉市子育て支援課「保育士対象講座」、広島県呉市子育て支援課「学童保育指導員対象講座」、広島県尾道市教育委員会「尾道子育て支援講座」、広島県東部「保育園長研修会」配布資料	単著	平成 29 年 3 月	広島県江田島市子育て支援センター、広島県呉市子育て支援課、広島市尾道市教育委員会	乳幼児期は「人としての基礎」の構築の時期であり、次の 8 点についての留意事項を医学や生理学、発達心理学や教育心理学の研究結果から解説した。 ①早起き・早寝 夜更かしの子どもは睡眠時間が短いというデータをもとに睡眠の大切さを解説した。 ②生活リズム ①を受けて生活リズムの確立に向けての食事と運動の大切さを解説した。 ③食育 具体的に朝ごはんと排泄について解説した。 ④「動くこと」の基礎を育てる 乳幼児期の体の動きについて解説した。 ⑤遊び 遊びをとおして「ルール」を理解することを解説した。 ⑥感覚統合 感覚統合の理論を解説し、バランスと感覚を育てる意味を解説した。 ⑦親子の絆 「愛着」の発達と人間関係の理解について解説した。 ⑧意欲の形成 身体状況への配慮と同時に意欲の形成に向けた働きかけを行うことの重要性を解説した。
その他 (表彰等) 広島市社会福祉協 議会奨励賞受賞		平成 7 年 10 月		長年の障害児のある児童生徒への水泳教室における指導により表彰される。